

## 目次 : SigmaPlot 15 SIMUS (Network) インストール手順

<b>サーバー側のインストール手順</b> .....	<b>1</b>
ステップ 1 : ライセンスマネージャーサービスのインストール .....	1
ステップ 2 : ライセンスファイルの適用 .....	4
有効なライセンスの確認 : .....	5
<b>クライアント側のインストール手順</b> .....	<b>6</b>
プログラムのインストール .....	6
クライアントプログラムのアンインストール .....	12
異なるサブネットにあるライセンスサーバーにクライアントからアクセスするには .....	14
<b>コンピューター/デタッチライセンスの使用</b> .....	<b>15</b>
サーバー/License-manager-hosting-machine への License Manager のインストール	15
a) SPWLicenseUtility.exe を実行し、3つ目の「Network」タブで「Install License Manager」 ボタンを押します。 .....	15
b) コマンドラインから、haspdinst.exe を実行します。haspdinst/i と実行することで、ロー カルにLicense Manager がインストールできます。 .....	16
コンピューターライセンスの有効化と設定 (管理者用) .....	17
Part 1 : オンラインでライセンスをデタッチする (クライアントから) .....	17
Part 2 : オフラインでライセンスをデタッチする (サーバーから) .....	19
ネットワークライセンスプールにライセンスを戻す .....	22
デタッチをキャンセルする .....	22
オンラインの場合 .....	23
オフラインの場合 .....	23



# サーバー側のインストール手順

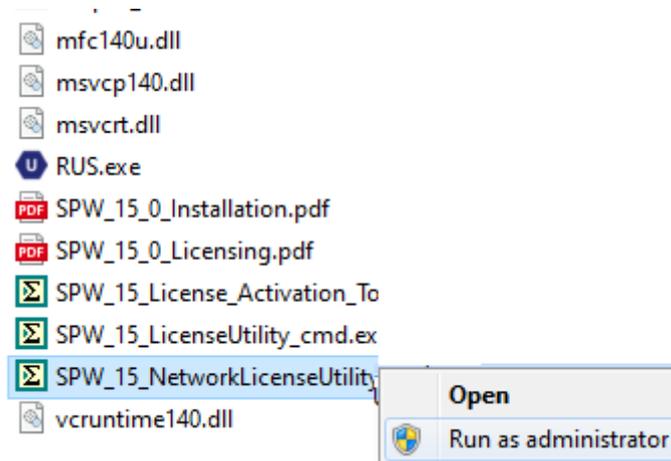
SigmaPlot 15 の Network License を利用できるようにするには、次の 2 つのステップを経る必要があります。まずはじめに、ネットワークライセンスマネージャーサービスのインストールと、Product Key またはライセンスファイルの取得をステップ 1 で説明します。続いて、取得した Product Key またはライセンスファイルの適用方法をステップ 2 で説明します。

インストールをはじめるまえに :

ネットワークライセンス用のインストーラは <https://grafiti.com/network-users/> からダウンロードいただけます。SPW15Net.zip ファイルをダウンロードしたら、すべてのファイルをローカルに展開します。Zip ファイルを展開した **SigmaPlot Network Licensing** ディレクトリには、すべてのユーティリティが用意されています。以降の手順を完了するには、Administrators (管理者) グループのメンバーである必要があります。すべてのファイルは、ライセンスマネージャーサービスをインストールするマシンの適切なフォルダーに配置してください (例 : C: ドライブの Network\_Install フォルダーなど)。

## ステップ 1 : ライセンスマネージャーサービスのインストール

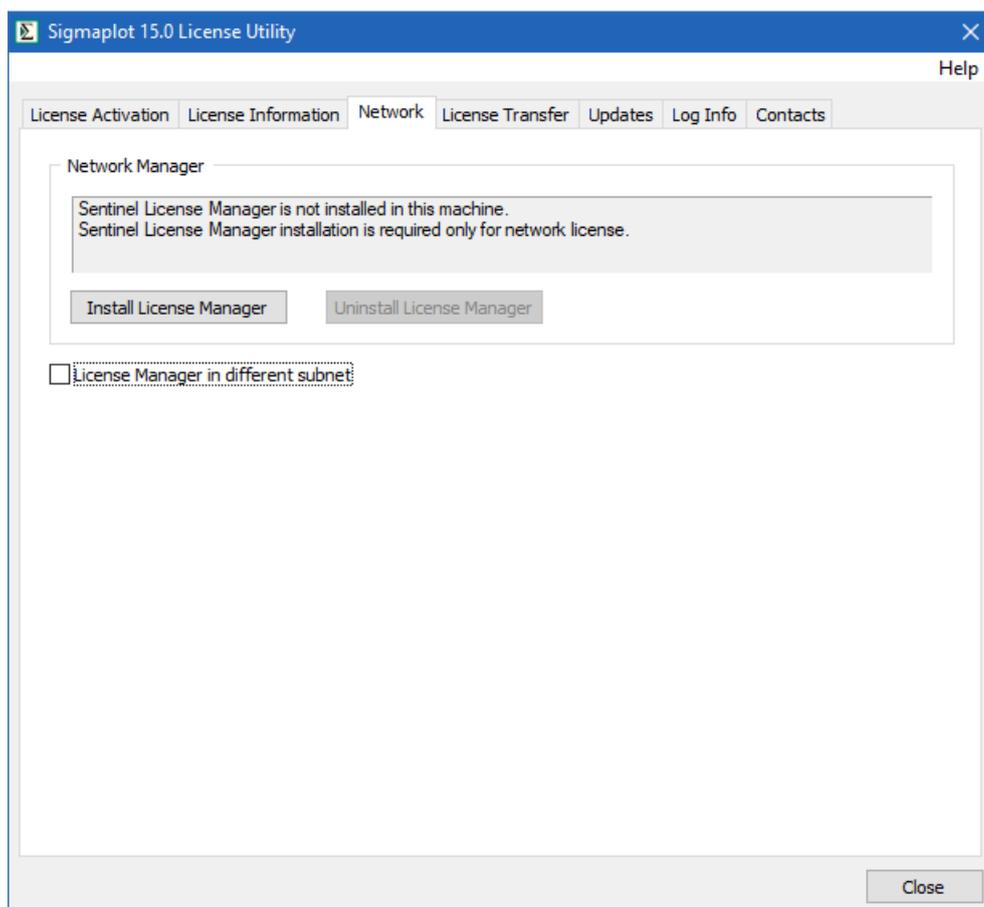
1. **SigmaPlot Network Licensing** ディレクトリにある実行ファイル SPW\_15\_LicenseUtility.exe を右クリックして、「管理者として実行」で起動します。



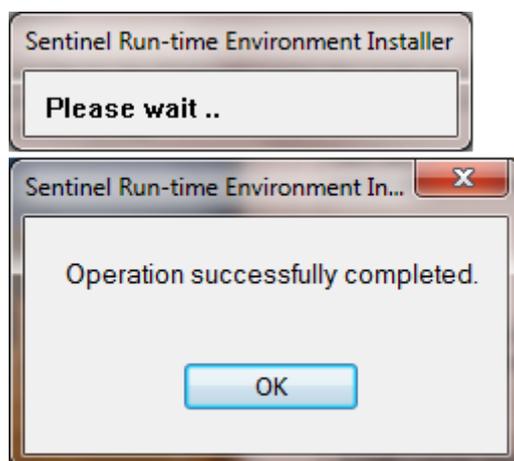
もし、ユーザーアカウント制御 (UAC; User Account Control) ダイアログが表示されたら、表示された内容がこれから実行するアクションであることを確認して「続行」をクリックします。

2. 以下の **License Utility** ダイアログが表示されるので、**Network** タブをクリックして、**Install License Manager** ボタンをクリックします。

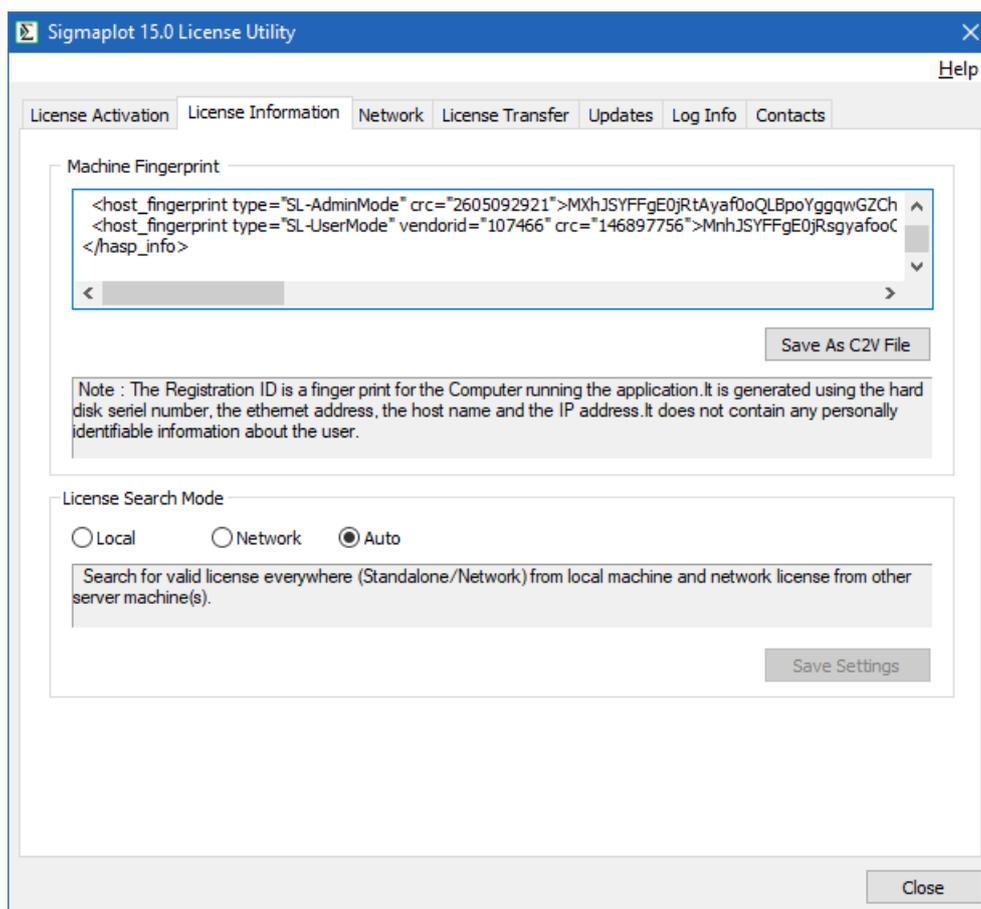
## サーバー側のインストール手順



3. License Manager のインストールでは、以下の進捗画面とダイアログが表示されます。完了したら OK をクリックします。



4. **License Utility** ダイアログを一旦終了し、再度起動します。License Information タブをクリックすると、Machine Fingerprint 欄に複数行の文字列からなるコードが表示されているはずですが (SL-AdminMode と SL-UserMode のコードが表示されます)。



5. **Save As C2V File** ボタンを押し、適当な場所（例：Cドライブの「network\_install」フォルダー）に保存してください。
6. インターネットブラウザ（Microsoft Edge 等）を利用して、下記弊社サイトよりライセンス申請を行ってください。

[Systat社製品ライセンスファイル申請フォーム](#)

その際に、先ほど生成した c2v ファイルを添付してください。

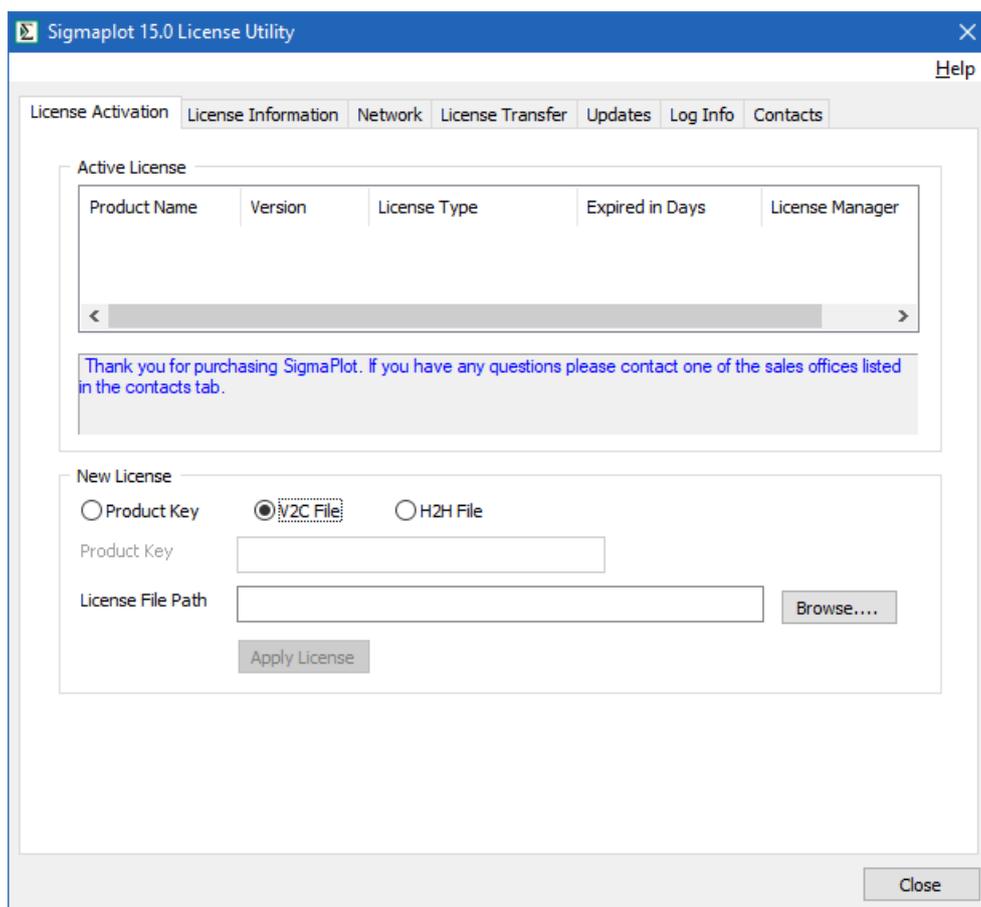
7. 「ライセンスファイル (V2C)」は、弊社より SYSTAT 社へリクエストいたします。発行まで数日かかります。お客様の「ライセンスファイル」が発行されたらご登録いただいた電子メール宛てにライセンスファイルを添付してお送りします。

ライセンスファイル (\*.V2C) が発行されたら、お客様のメールアドレス宛に添付ファイルでお送りします。受信した添付ファイルをローカルに保存してください。

## ステップ 2 : ライセンスファイルの適用

実行ファイル Sigmaplot 15.0 LicenseUtility.exe を起動します。"Active License not found..." (アクティブなライセンスが見つかりません...) というダイアログが表示されます。OK をクリックすると、以下のダイアログが表示されます。

ここでは、\*.v2c ライセンスファイルを使用しますので、New License セクションのラジオボタンから **V2C File** を選択したあと、**Brows** ボタンをクリックして保存した V2C ファイルを指定したら、**Apply License** ボタンをクリックしてください。

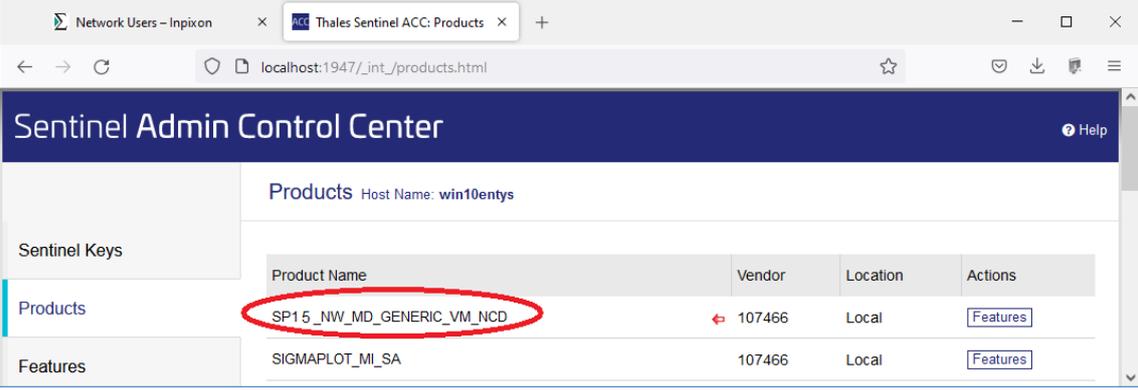


この処理が問題なく完了すると、License updated successfully (ライセンスが正常に更新されました) という通知が表示されますので、OK ボタンをクリックします。

## 有効なライセンスの確認 :

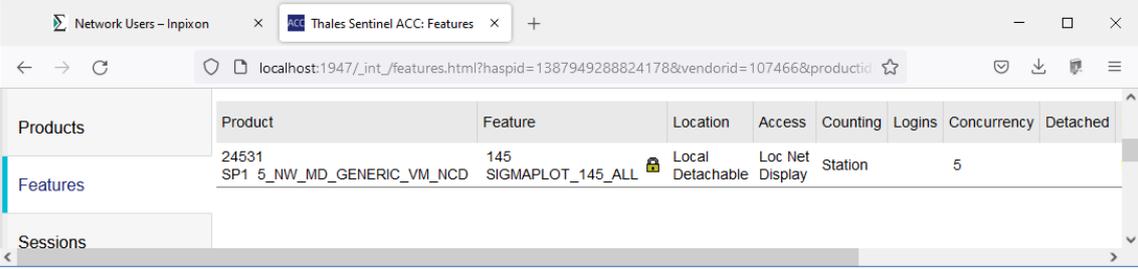
ウェブブラウザのアドレス欄に **http://localhost:1947** を入力して、Manager Control Center を起動します。

画面左側の見出しで、「Products」をクリックすると、利用可能なライセンスとマシン情報がテーブルで表示されます。



Product Name	Vendor	Location	Actions
SP1 5_NW_MD_GENERIC_VM_NCD	107466	Local	<a href="#">Features</a>
SIGMAPLOT_MI_SA	107466	Local	<a href="#">Features</a>

「Features」 ボタンをクリックすると、Host Name (一番上)、Vendor、Key ID、Product などの詳細が表示されます。

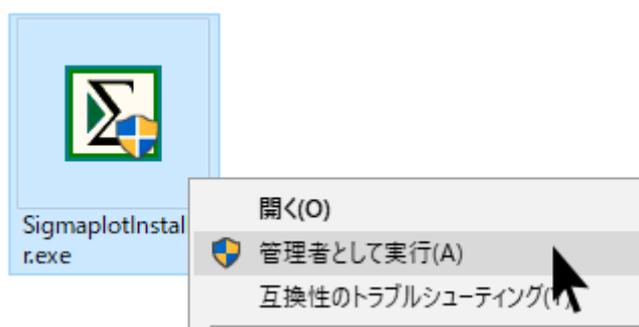


Product	Feature	Location	Access	Counting	Logins	Concurrency	Detached
24531	145	Local	Loc Net	Station	5		
SP1 5_NW_MD_GENERIC_VM_NCD	SIGMAPLOT_145_ALL	Detachable	Display				

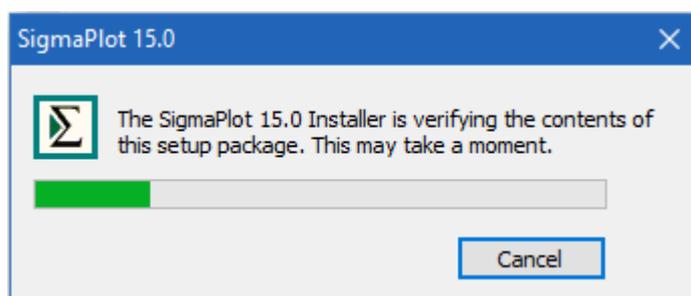
# クライアント側のインストール手順

## プログラムのインストール

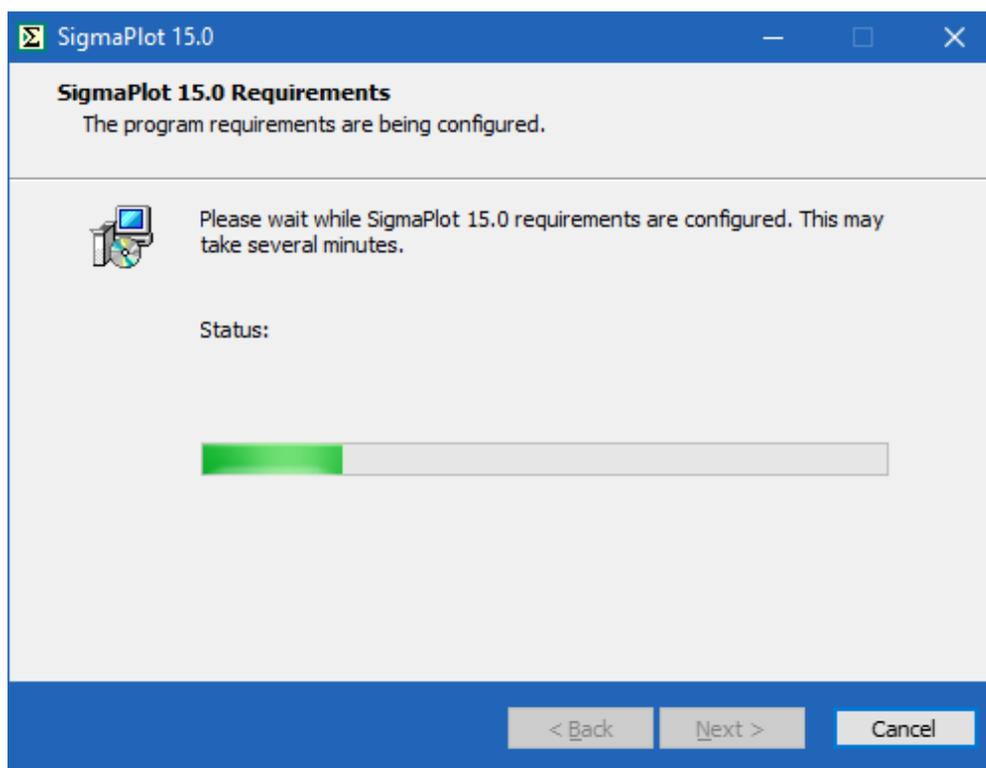
1. SigmaPlot のインストールプログラム (SigmaPlotInstaller.exe) を右クリックして「**管理者として実行**」で起動します。



2. SigmaPlot のインストールプログラム (SigmaPlotInstaller.exe) を実行すると、以下のような進行状況のウィンドウが表示されます。



これは、SigmaPlot がコンテンツの確認やコンポーネントのダウンロードやインストールを行っているため、以下のインストールダイアログが表示されるまで少し時間がかかる場合があります。完了したら、「次へ」ボタンを押します。

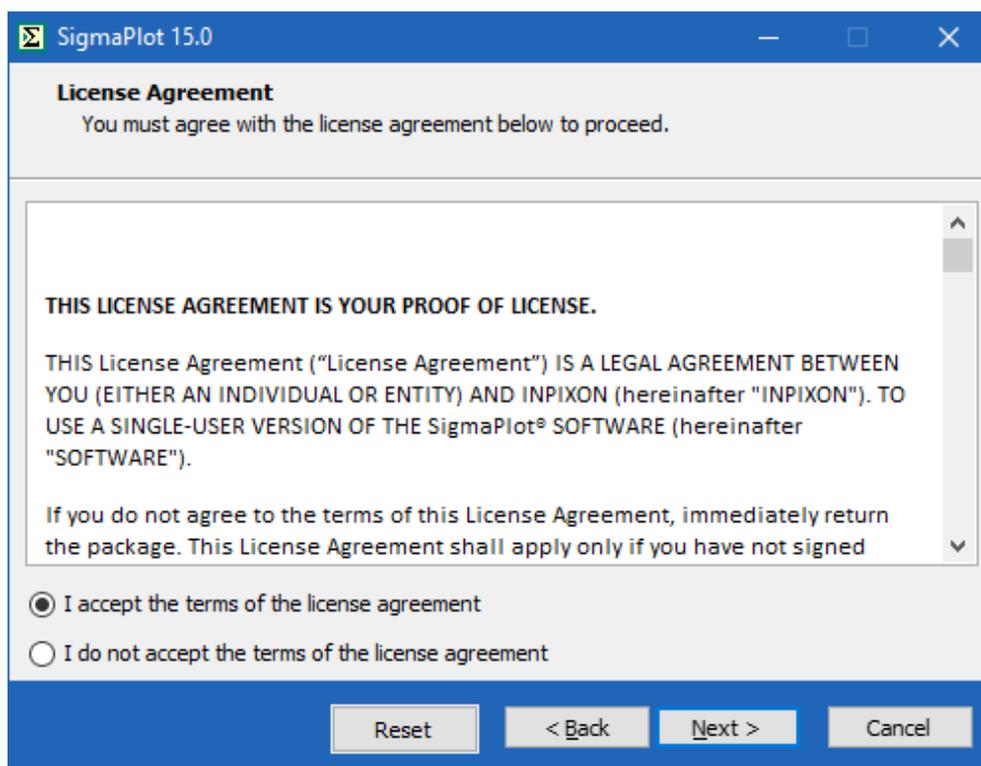


3. 同様に、「次へ」ボタンをもう一度押します。

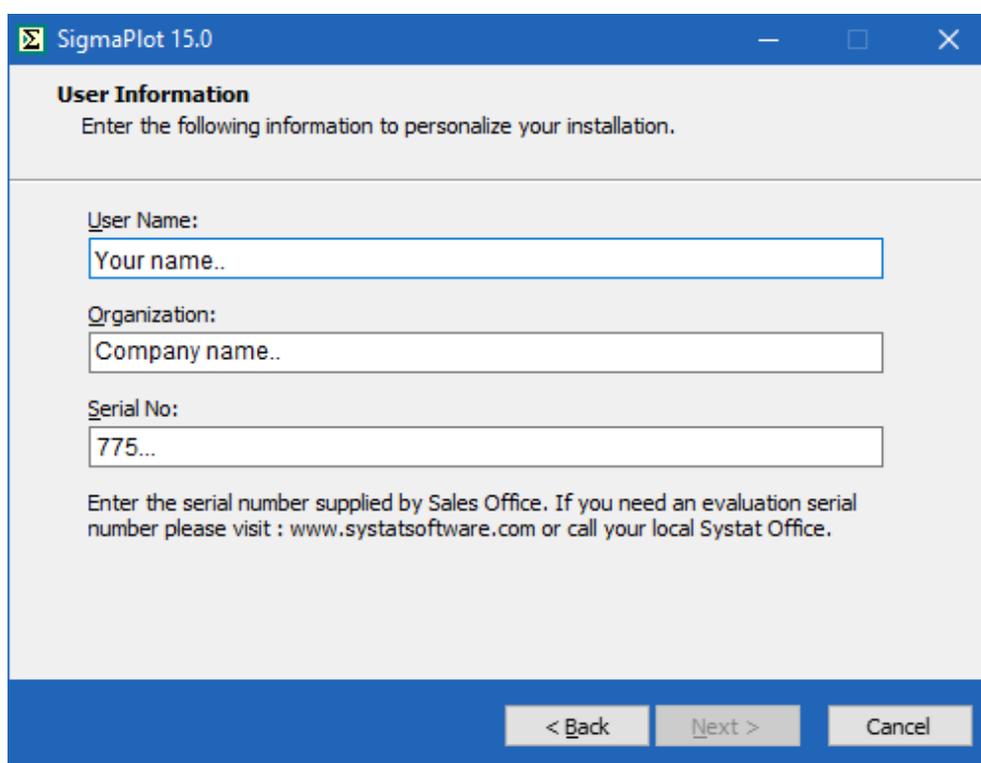


4. ライセンスに同意する方のラジオボタンを選択し、「次へ」を押して続行します。

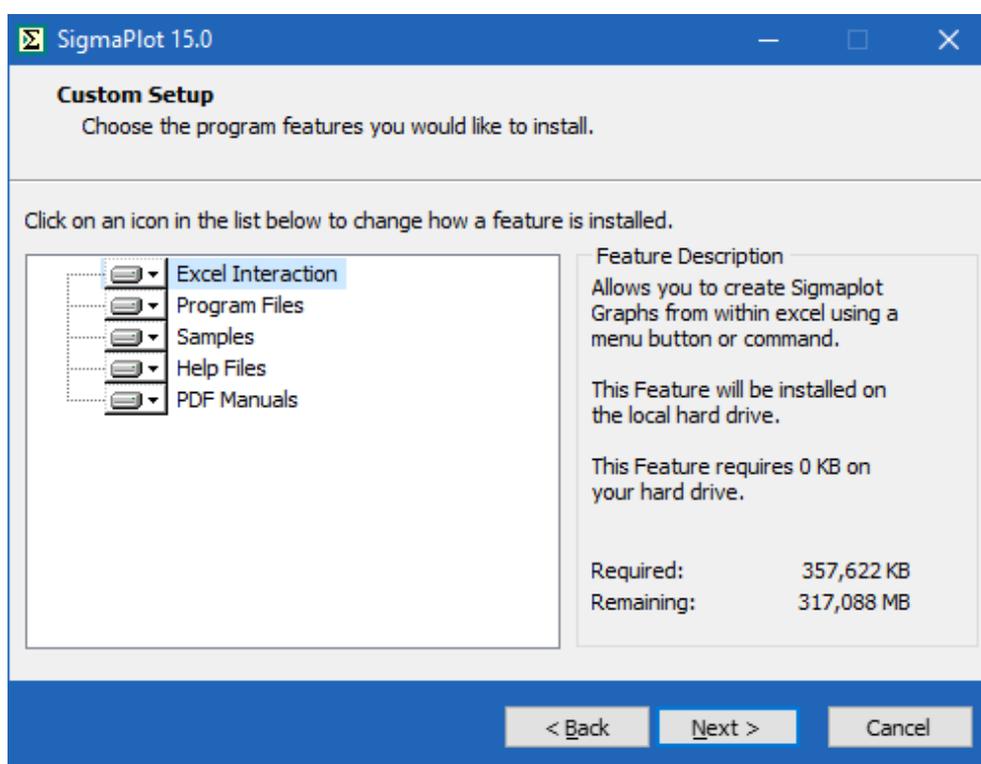
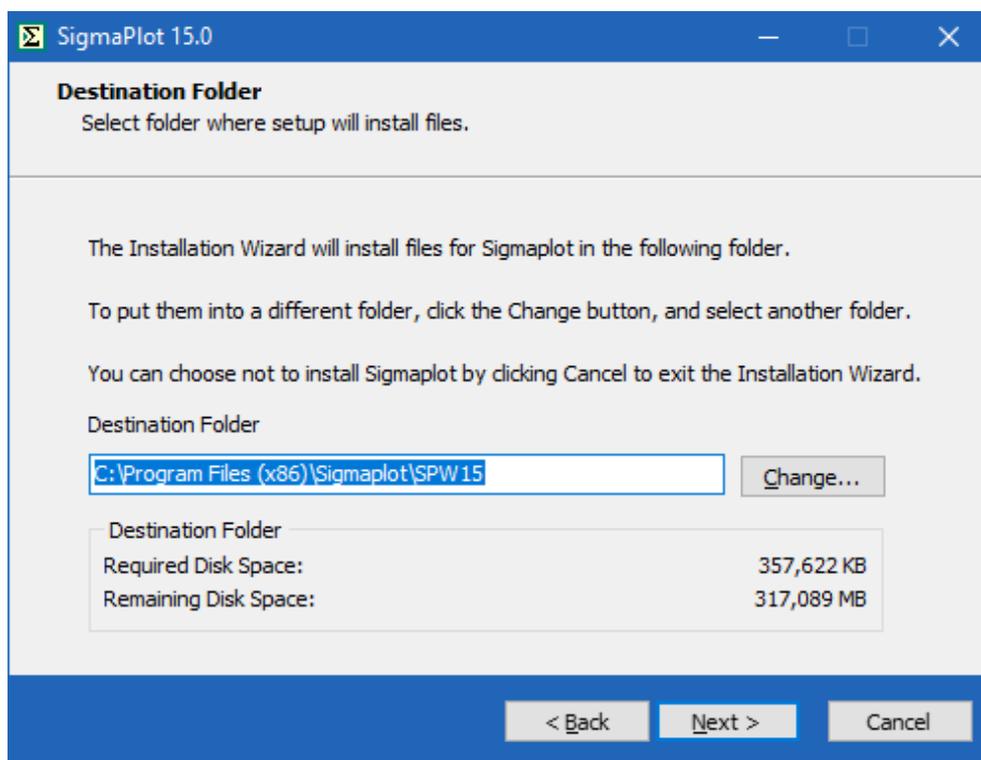
## クライアント側のインストール手順



5. ユーザー名、会社・組織名、シリアル番号を入力します：（※ライセンスを購入された方はお持ちのシリアル番号を入力してください。評価用としてご検討されている方でまだシリアル番号をお持ちでない方は、**775500001** を入力してください。ユーザー名とシリアル番号は後から変更することも可能です。）

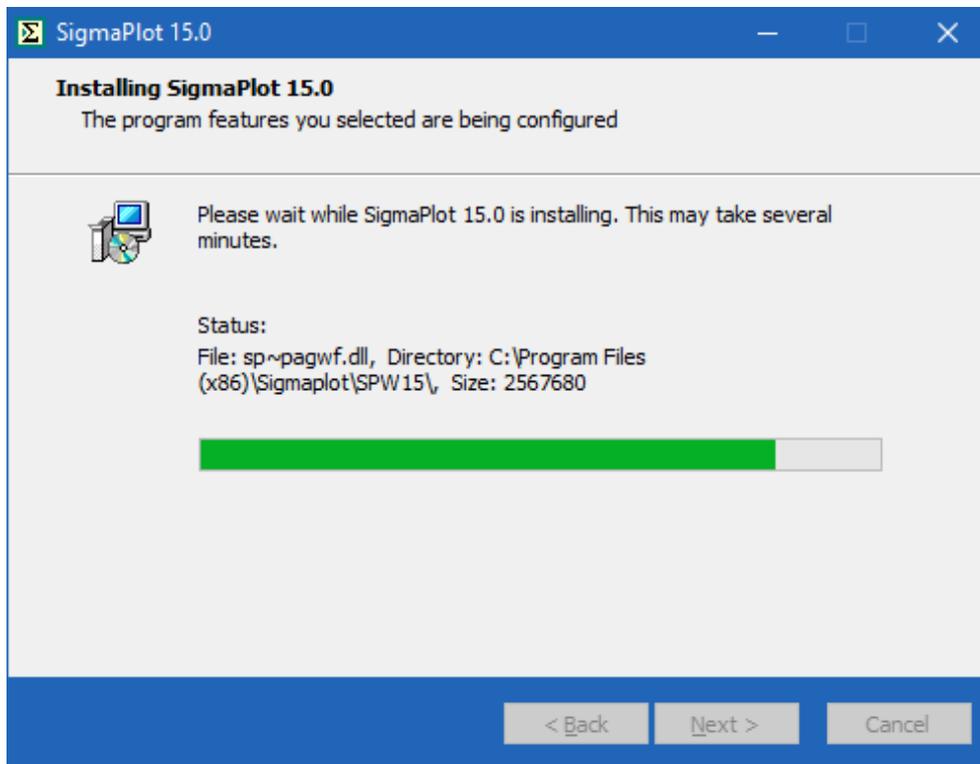
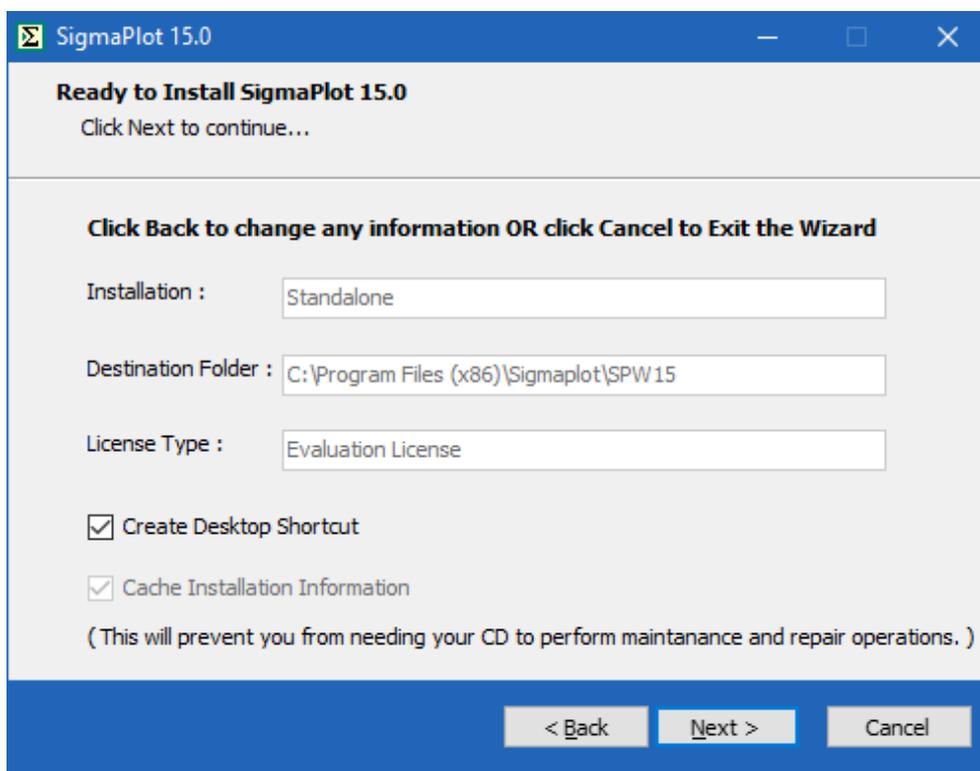


6. 次に、デフォルトのインストール場所へのパスがダイアログに表示され、次のダイアログにはインストール可能なコンポーネントが表示されます。

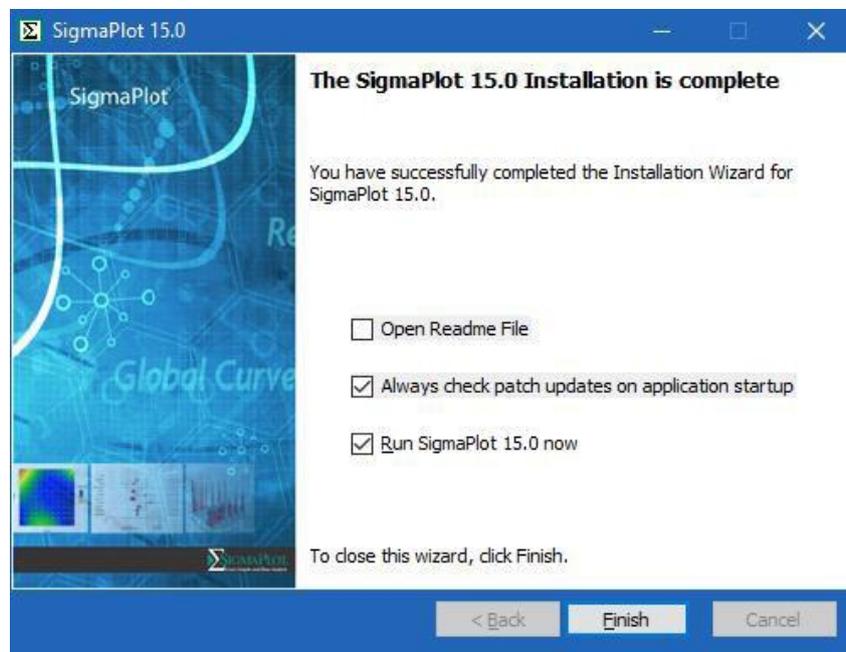


## クライアント側のインストール手順

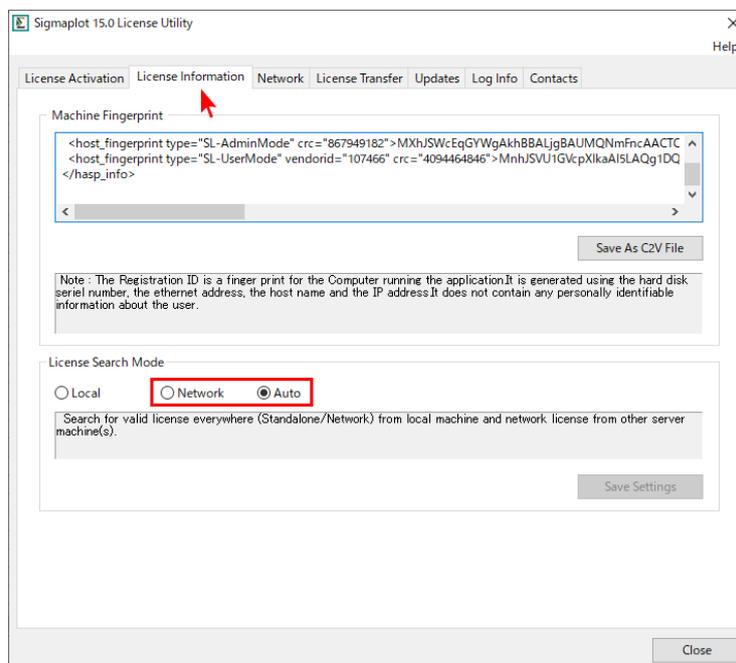
7. この時点ではライセンスキー/ライセンスファイルは必要ありません。SigmaPlot はインストール後に更新できる30日間の試用ライセンスとしてインストールされるからです。次に、残りの進行状況ウィンドウ、ダイアログに従ってインストールを続行してください。



8. 「完了」(Finish) ボタンを選択してインストールを完了します。ここでは、次のようにいくつかのチェックボックスをオン/オフにするオプションが用意されています。(「Readme ファイルを開く」、「アプリケーションの起動するたびにパッチアップデートを確認する」、「SigmaPlot 15 をすぐに起動する」です。)

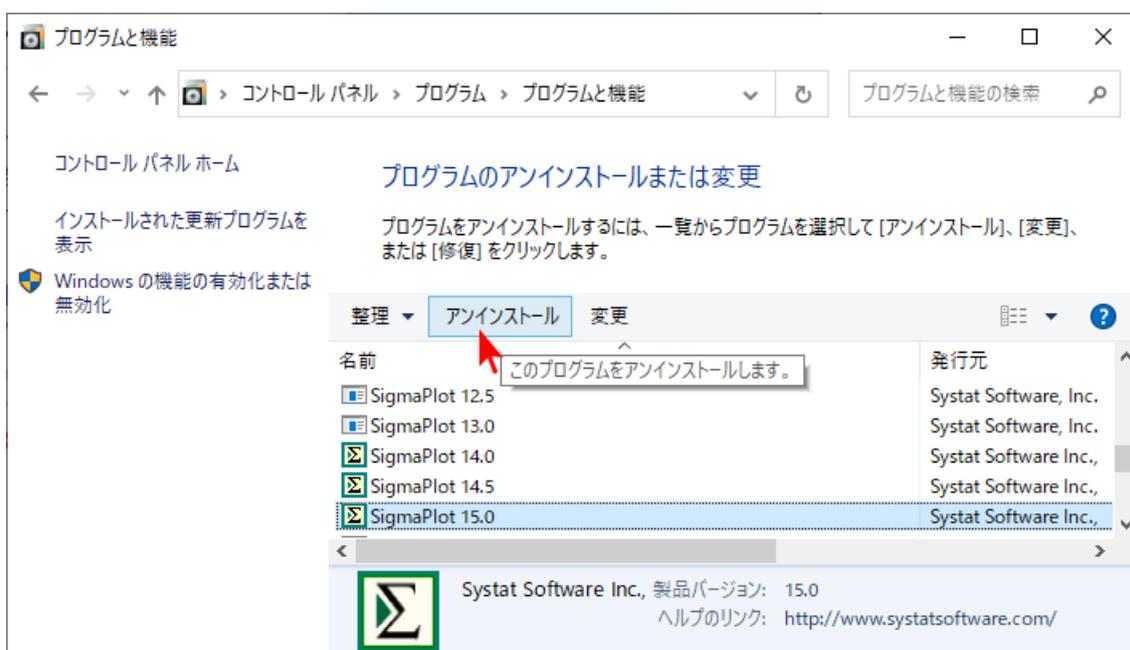


License Information ダイアログの License Search Mode が **Auto** または **Network** になっていれば、同一ネットワーク内にある有効なライセンスサーバーにアクセスし、Network License が照合されます。

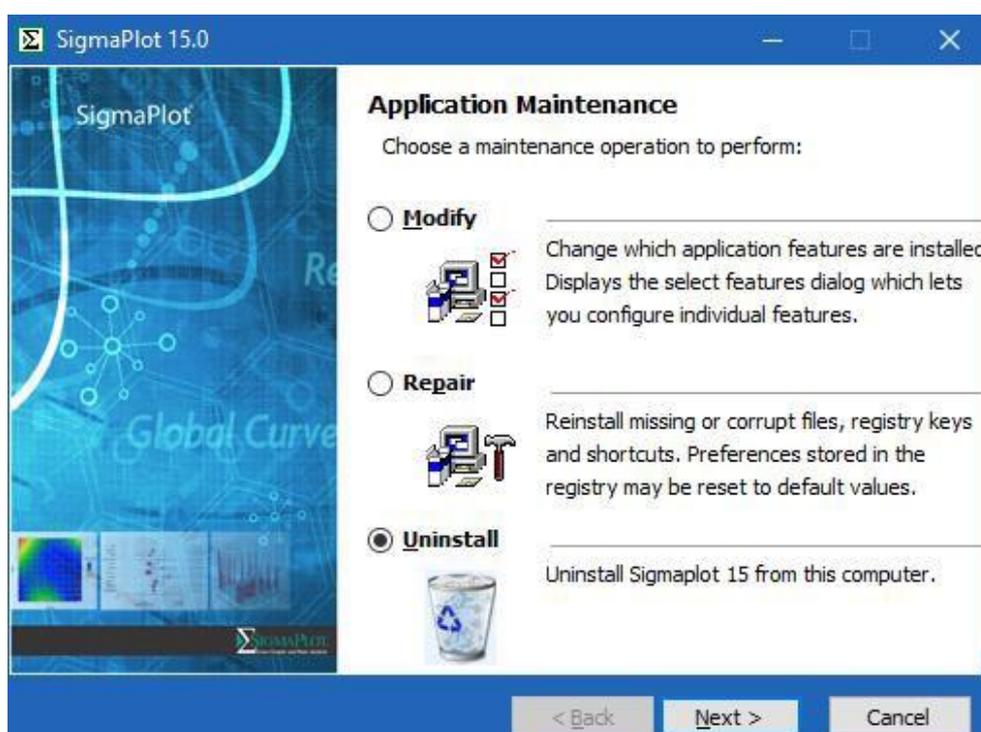


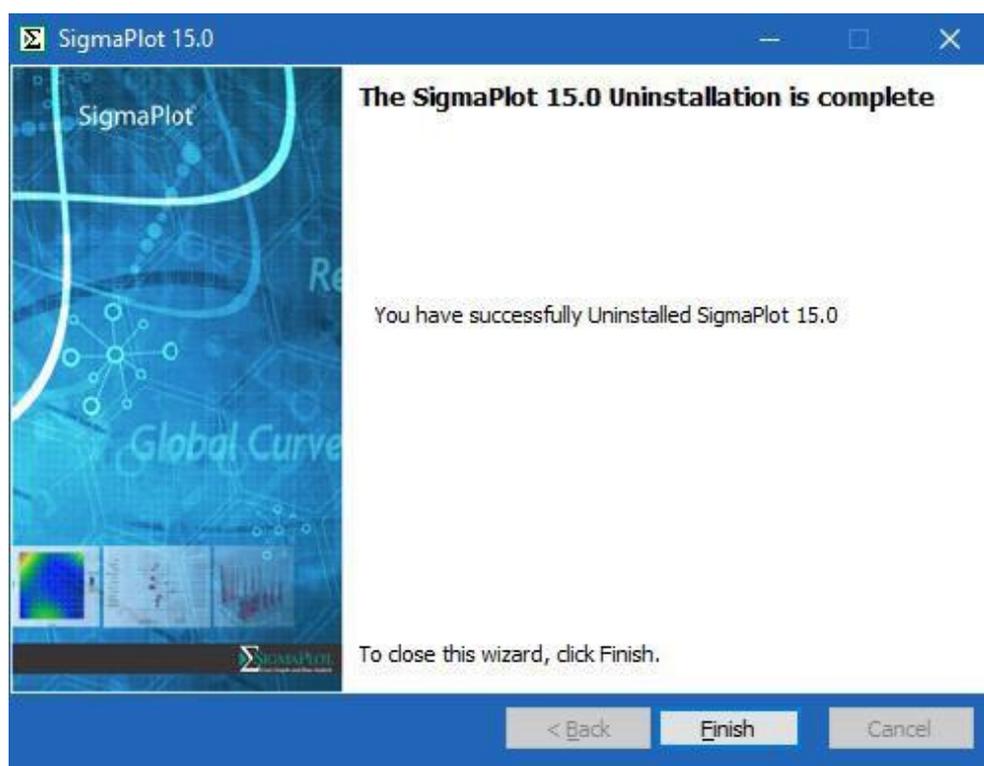
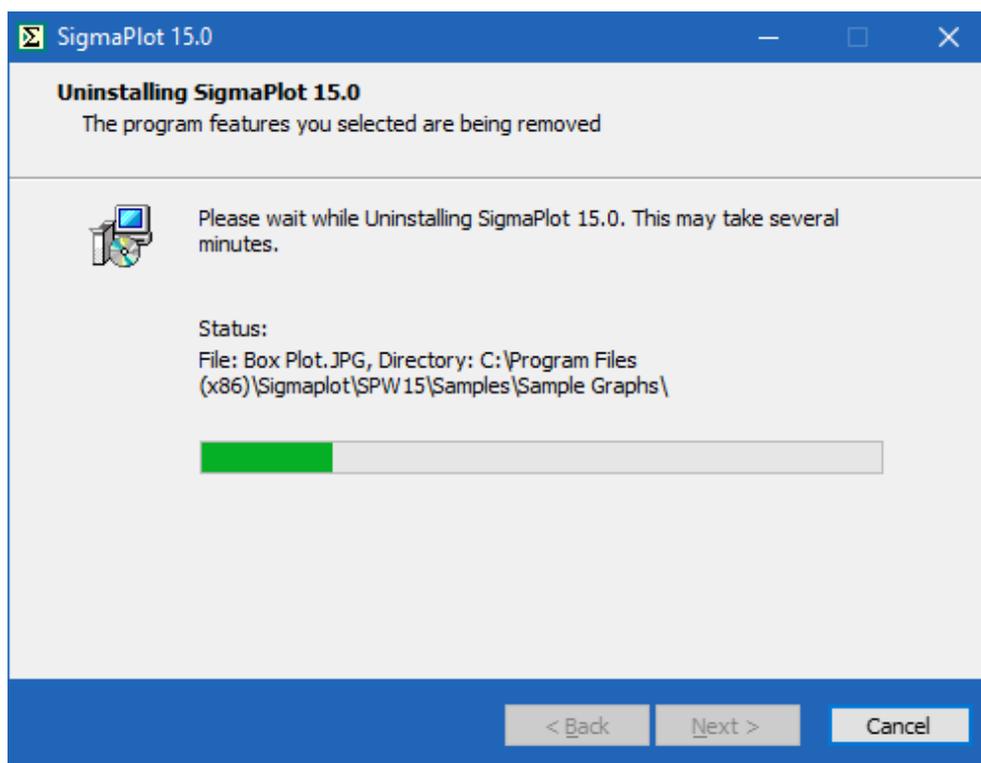
## クライアントプログラムのアンインストール

SigmaPlot をアンインストールするには、コントロールパネルの「プログラムと機能」に移動する必要があります。インストールされているプログラムから SigmaPlot 15 を選択し、リスト上部の「アンインストール」をクリックします。



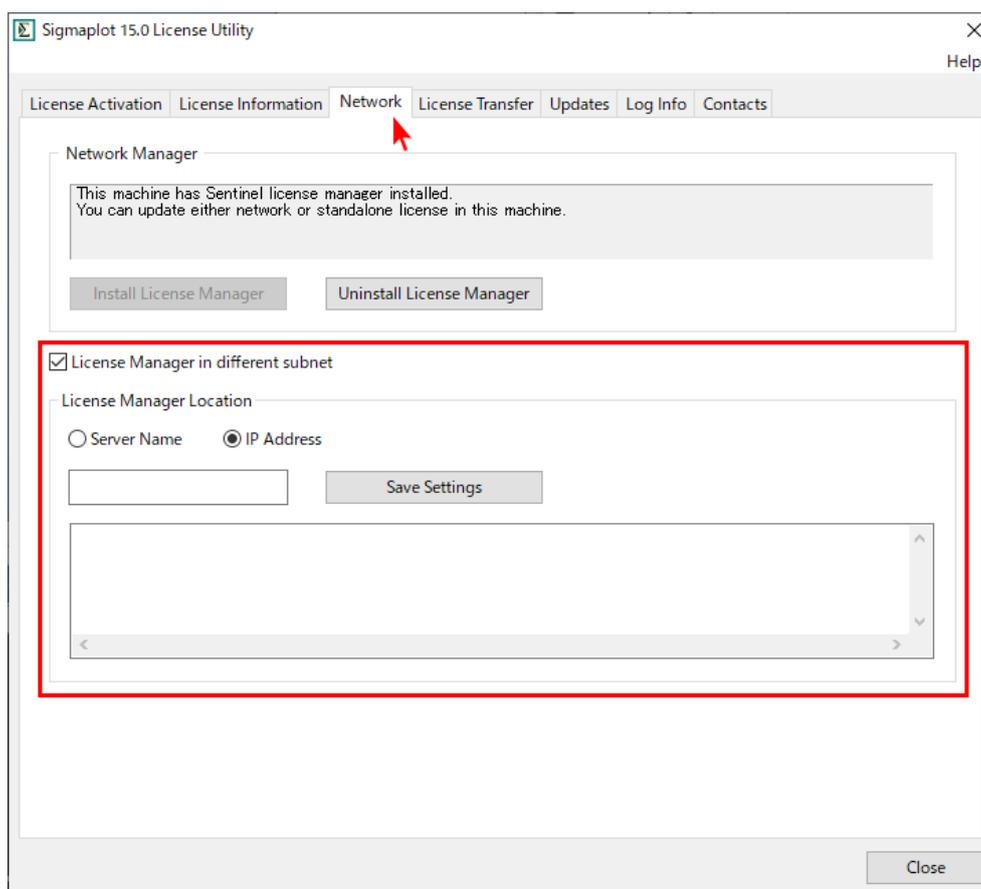
以下のダイアログで、「Uninstall」ラジオボタンを選択後、「Next」ボタンを押します。プログレスバーが終了したら、「Finish」ボタンを押すことでアンインストールが完了します。





## 異なるサブネットにあるライセンスサーバーにクライアントからアクセスするには

1. SigmaPlot 15.0 License Utility の **Network** タブを選択します。
2. **License Manager in different subnet** にチェックをいれます。
3. 異なるサブネットにあるライセンスマネージャーのサーバー名または IP アドレスを指定します。
4. 設定が成功すると、hasp\_107466.ini ファイルがローカルユーザーの appdata フォルダに作成/更新されます (例 : C:¥Users¥user1¥AppData¥Local¥SafeNet Sentinel ¥Sentinel LDK)。



※この操作は、各クライアントごとにおこなう必要があります。

## コンピューター/デタッチライセンスの使用

コンピューターライセンスを用いると、ネットワーク上のライセンスプールから期限付きでライセンスをデタッチして、それをスタンドアロンのコンピューターに移動することで、ネットワークに接続せずとも SigmaPlot を動作させることができます。

ライセンスをデタッチするには、サーバーマシンとクライアントマシンの両方に License Manager がインストールされている必要があります、Sentinel Admin Control Center (localhost:1947) を使って転送を行います。

ライセンスのデタッチ/コミットには、オンラインとオフラインの2つの方法があります。

### オンラインの場合：

現在、作業しているマシン（クライアント）でライセンスをデタッチするために使用します。このオプションを使用するには、ネットワークサーバーに接続している必要があります、この方法は、License Manager アプリケーションのインストールが必要です（ライセンスは必要ありません）。

### オフラインの場合：

ネットワーク上の別のマシン用のライセンスをサーバーでデタッチするために使用します。ライセンスをファイルにエクスポートし、後でクライアントにインポートします。サーバーは、クライアントマシンを「認識」している必要があります、クライアントが以前からオンラインであれば、サーバーのマシンリストにあるはずですが、そうでない場合は、クライアントで ID ファイルを作成し、それをホストのリストに読み込むことができます。

より詳細な情報は、Sentinel Admin Control Center のヘルプページに記載されています。

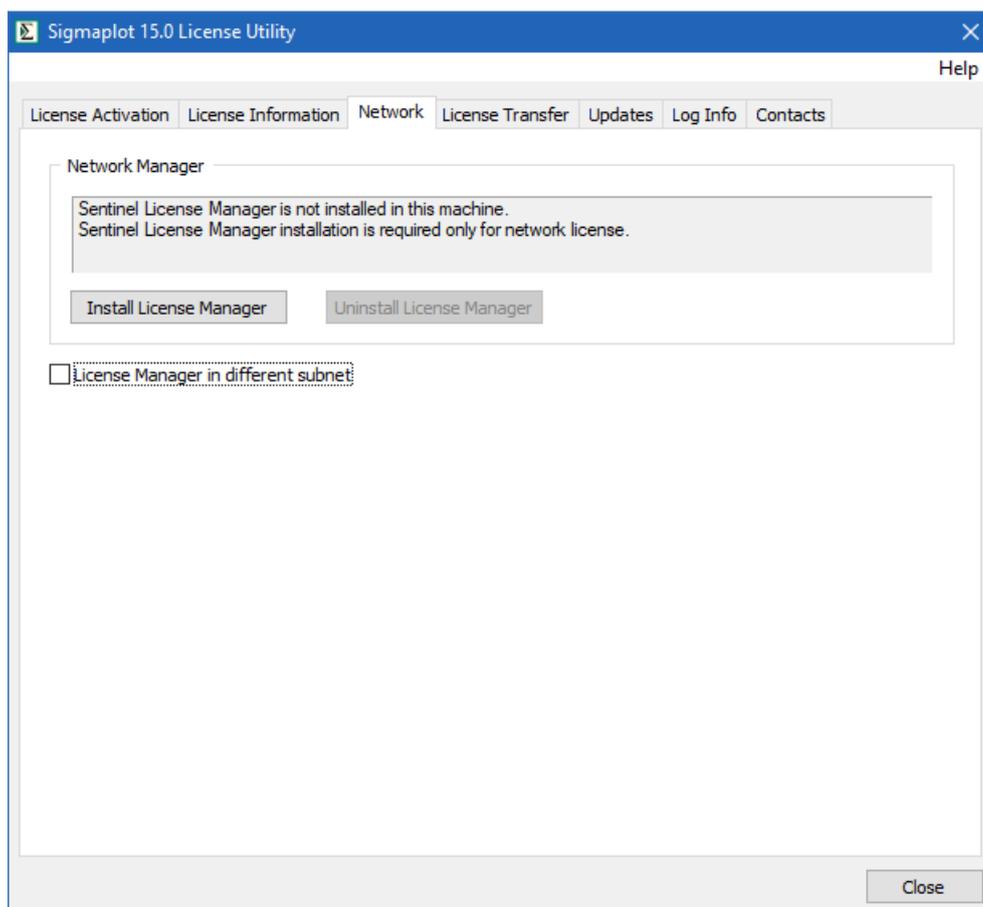
## サーバー/License-manager-hosting-machine への License Manager のインストール

---

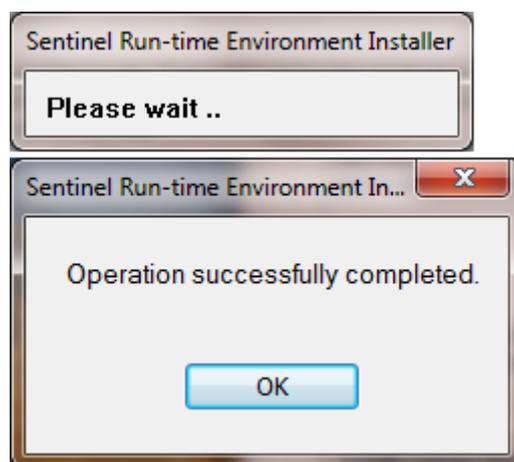
License Manager のインストールに、以下の2つの方法があります。

a) SPWLicenseUtility.exe を実行し、3 つ目の「Network」タブで「Install License Manager」ボタンを押します。

## コンピューター/デタッチライセンスの使用



License Manager がインストールされ、次のような画面とダイアログが表示されたら、「OK」をクリックします。

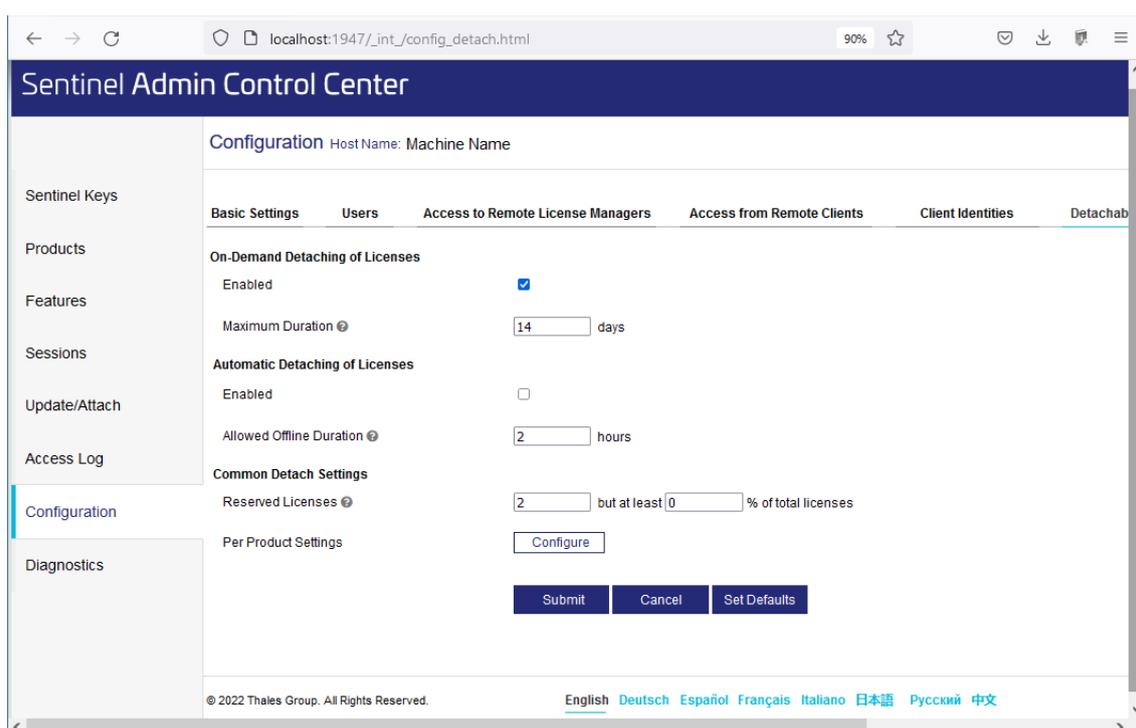


b) コマンドラインから、`haspdinst.exe` を実行します。`haspdinst/i` と実行することで、ローカルに License Manager がインストールできます。

License Manager のインストールが完了したら、ウェブブラウザのアドレス欄に <http://localhost:1947> と入力して Sentinel License Admin Control Center を起動します。これは、ネットワークライセンスが既にインストールされていることが前提になります。

## コンピューターライセンスの有効化と設定 (管理者用)

1. サーバー上の License Admin Control Center (<http://localhost:1947>) の Configuration メニュー -> Detachable Licenses タブで、「On-Demand Detaching of Licenses」チェックボックスを「Enable」に設定します。
2. 「Reserved Licenses」フィールドで、ホストマシンの Sentinel SL キーのネットワークプールに残しておく必要のあるライセンス数を指定します。「Reserved」と「Res.%」の両方のフィールドに値を入力する必要はありません。
3. 「Maximum Duration」の下にあるプリセット日数は変更可能で、デフォルトでは14日となっています。これは、デタッチされたライセンスごとに個別に変更することができます。



### Part 1 : オンラインでライセンスをデタッチする (クライアントから)

1. License Manager アプリケーションは、クライアントマシンにもインストールする必要があります。

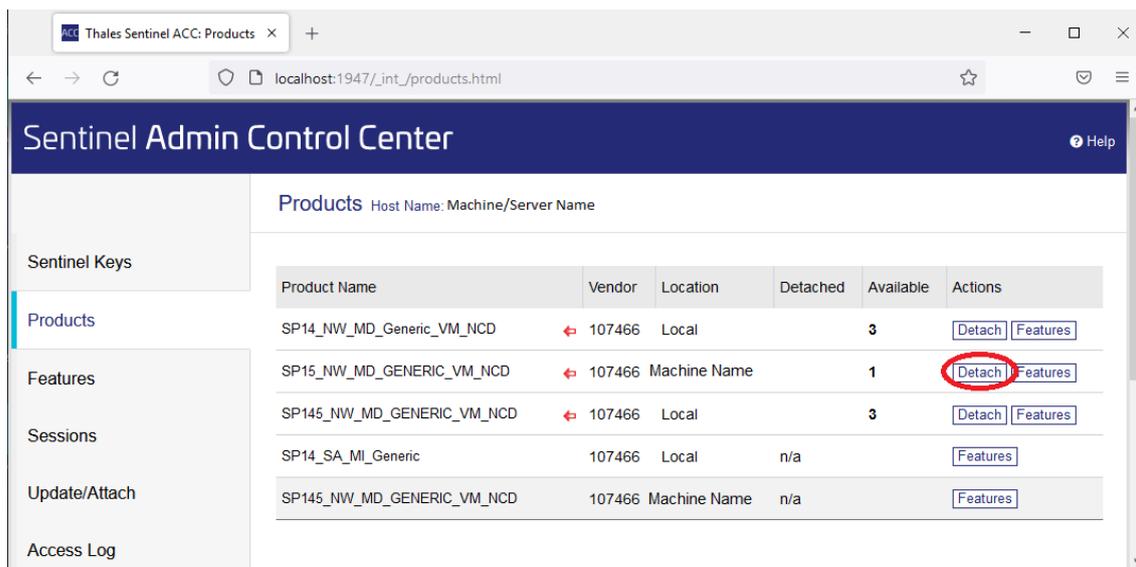
これを行うには、License Manager のインストーラーを実行します (上記(a) を参照)。インスト

## コンピューター/デタッチライセンスの使用

ールには、管理者認証が必要な場合があります。

2. クライアントで、ウェブブラウザに `http://localhost:1947` と入力して、Admin Control Center を起動します。

左側の見出しの下にある「Products」をクリックすると、利用可能なライセンスとマシンの一覧がテーブルで表示されます。このテーブルには、サーバー名とクライアントのマシン名（または「Local」）が記載されています。

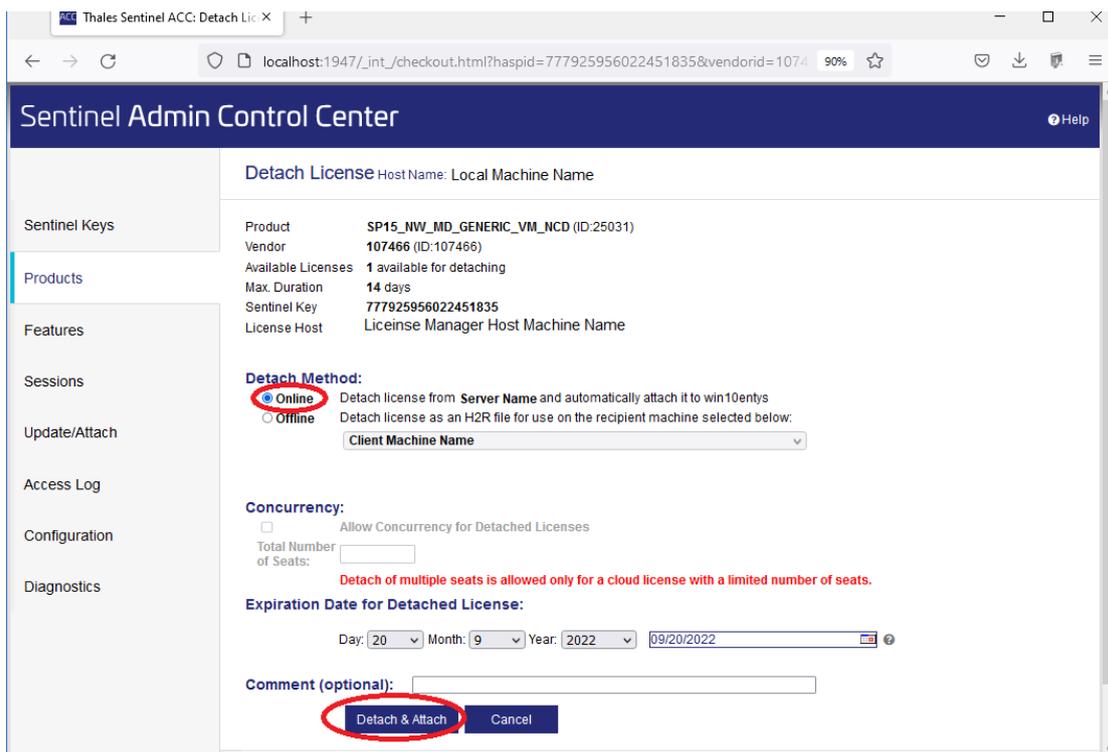


The screenshot shows the Sentinel Admin Control Center interface. The main content area displays a table titled "Products" with the subtitle "Host Name: Machine/Server Name". The table has the following columns: Product Name, Vendor, Location, Detached, Available, and Actions. The data rows are as follows:

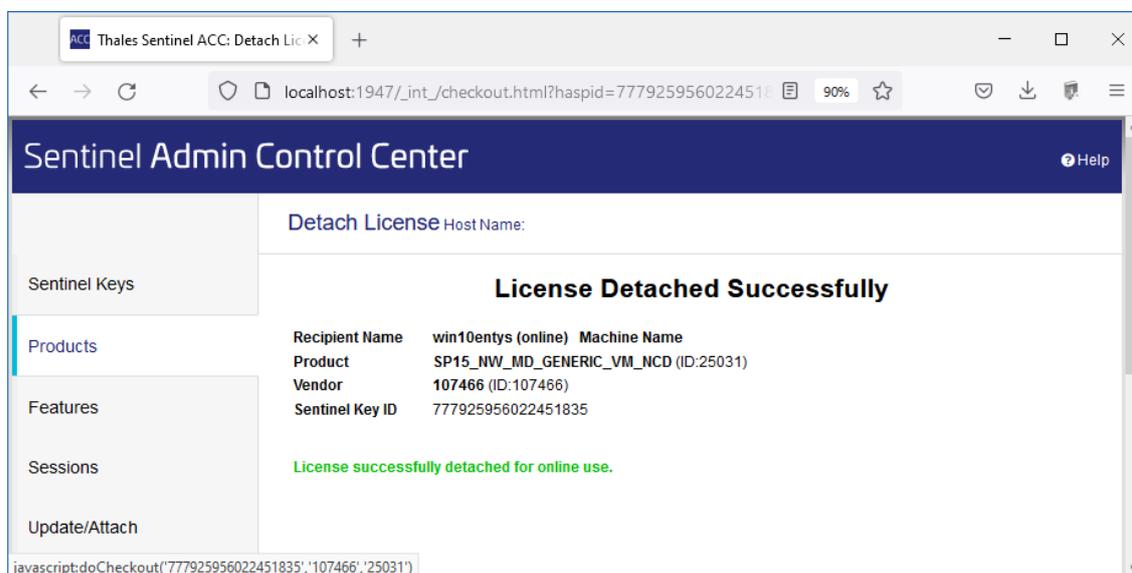
Product Name	Vendor	Location	Detached	Available	Actions
SP14_NW_MD_Generic_VM_NCD	107466	Local		3	<a href="#">Detach</a> <a href="#">Features</a>
SP15_NW_MD_GENERIC_VM_NCD	107466	Machine Name		1	<a href="#">Detach</a> <a href="#">Features</a>
SP145_NW_MD_GENERIC_VM_NCD	107466	Local		3	<a href="#">Detach</a> <a href="#">Features</a>
SP14_SA_MI_Generic	107466	Local	n/a		<a href="#">Features</a>
SP145_NW_MD_GENERIC_VM_NCD	107466	Machine Name	n/a		<a href="#">Features</a>

3. サーバーの行で、「Detach」ボタンをクリックします。

これで、オンラインデタッチオプションが表示されます。



4. クライアントのマシン名は、上記のように表示されます。「Detach & Attach」ボタンをクリックすると、次のような画面が表示されます。

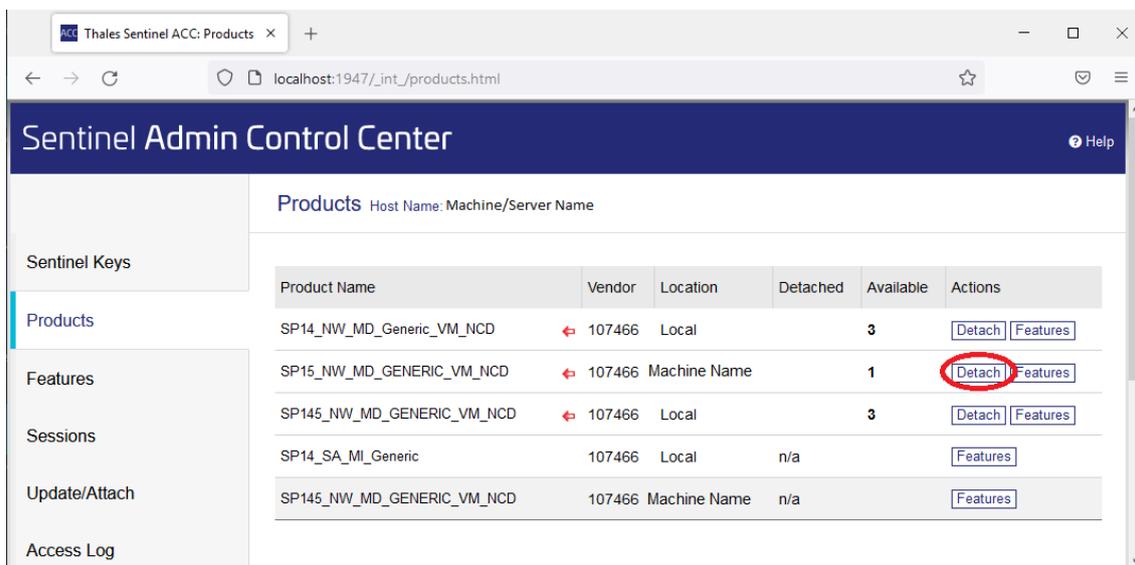


## Part 2 : オフラインでライセンスをデタッチする (サーバーから)

オンラインでデタッチする方法 (Part 1) では、デタッチされたライセンスを現在のマシンに直接適用しました。オフラインの方法は、ライセンスをサーバー上のファイルにエクスポートします。その後、このファイルをクライアントに移動し、クライアントの Update/Attach License 画面を使って、ファイルからライセンスをインポートします。

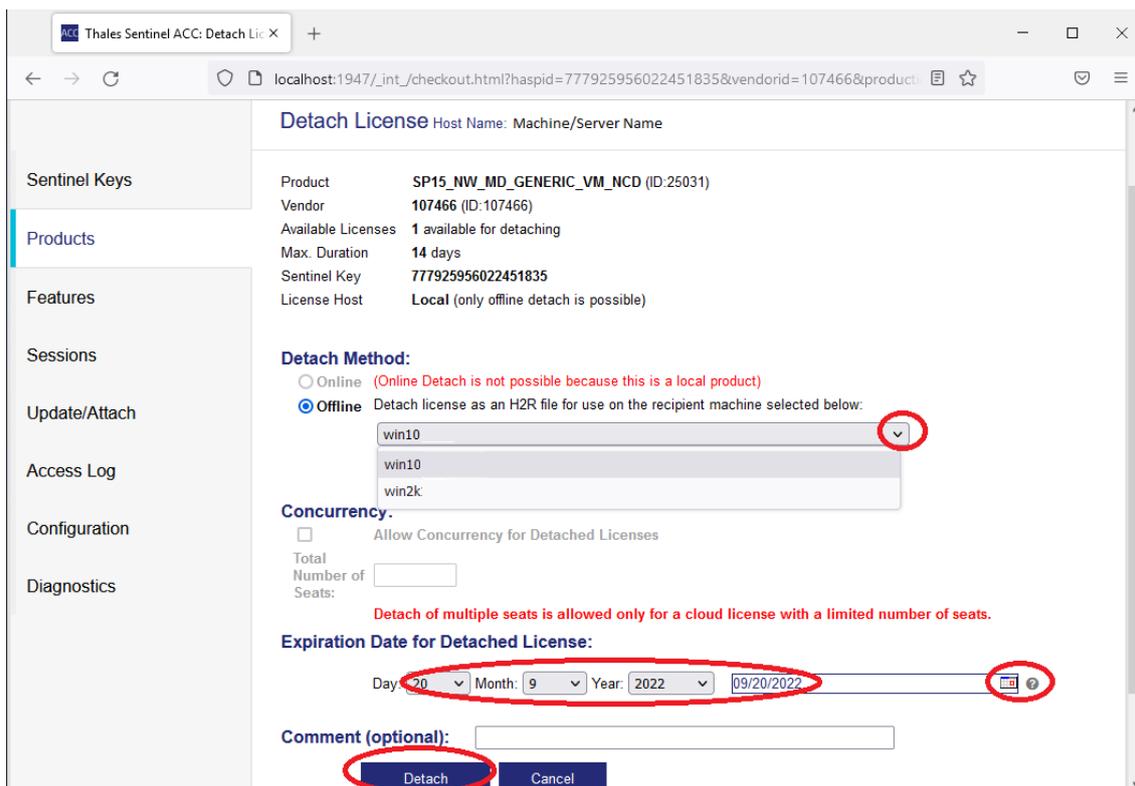
### a) サーバーからライセンスをファイル (\*.h2r) にエクスポートする

1. オフラインでデタッチする場合、左側の「Products」オプションを選択し、コミットする必要があるライセンスの「Detach」ボタンをクリックします。



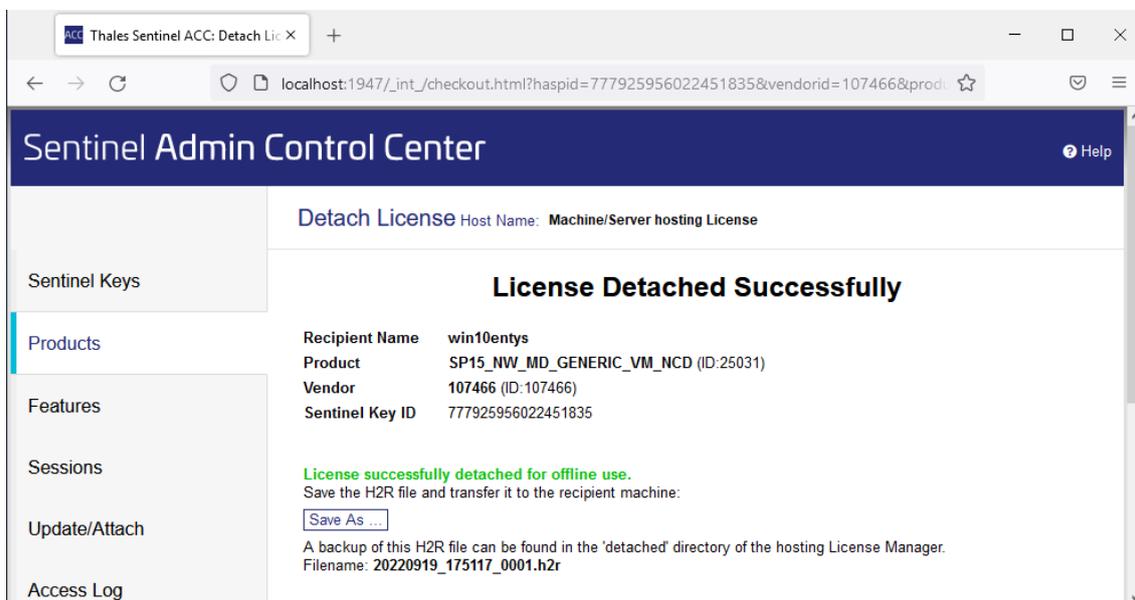
ここでは、サーバー上ではオフラインデタッチのみ使用可能です。(オンラインデタッチは、クライアントマシンからのみ可能です。)

2. 「Detach Method」で、「Select Recipient Machine」ドロップダウンリストからマシンを選択します。



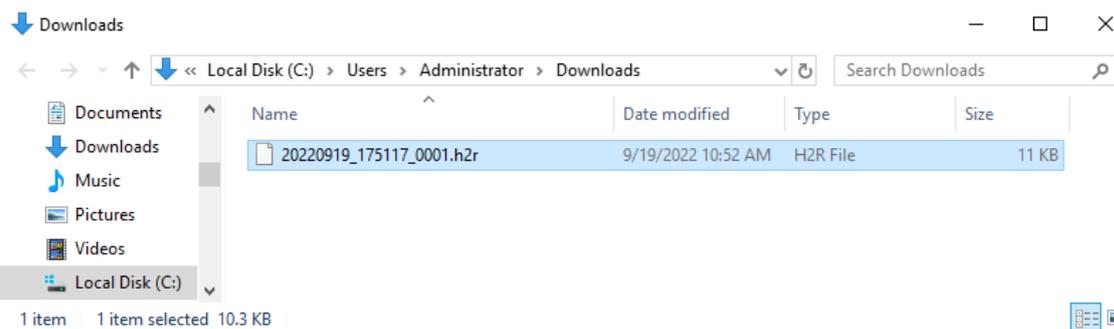
- 「Expiration Date for Detached License」の下にあるカレンダーオプションから、日、月、年をそれぞれのドロップダウンリストで選択し、「Detach」ボタンをクリックします。

「Detach」ボタンを押すと、次のような画面が表示されます。



- ここで、「Save」ボタンを押すと、クライアントに提供する拡張子「\*.h2r」のファイルが保存されます。

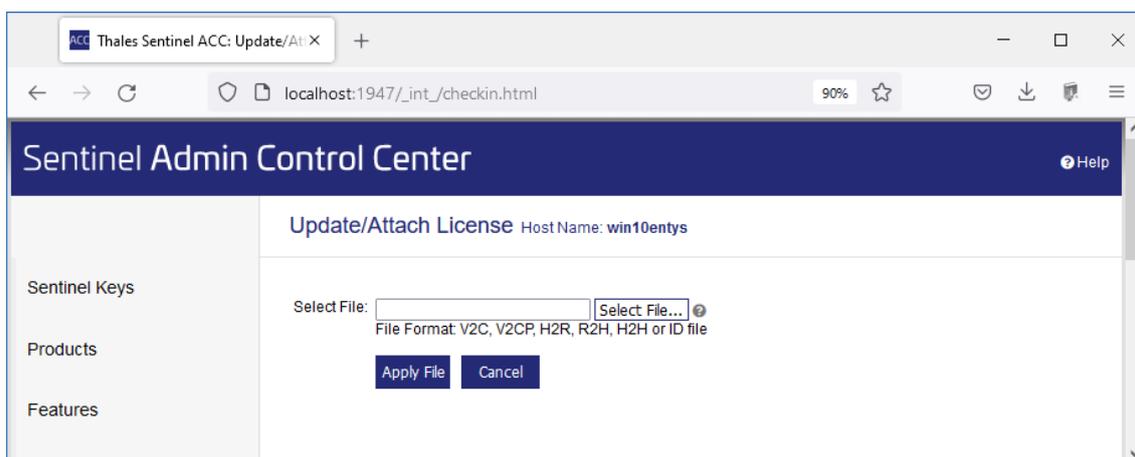
## コンピューター/デタッチライセンスの使用



### b) オフラインでデタッチされたライセンスファイル (\*.h2r) を適用する

クライアントマシンの Update/Attach License 画面を使用して、デタッチされたライセンスをクライアント/リモートマシンに適用します。

Browse ボタンをクリックし、デタッチされた拡張子「\*.h2r」のライセンスファイルのある場所に移動します。ファイルを開いたら、「Apply File」をクリックしてライセンスを追加します。

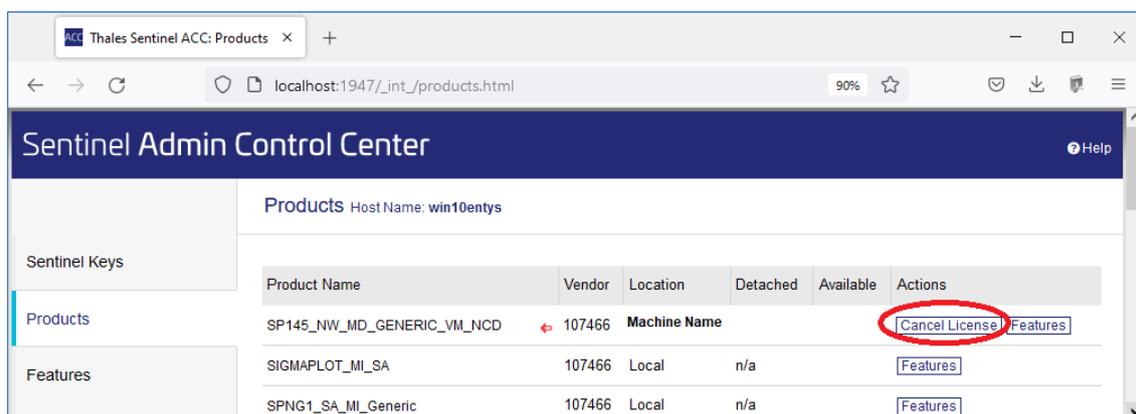


## ネットワークライセンスプールにライセンスを戻す

ライセンスのデタッチと同様に、オンライン、またはオフラインでライセンスの返却/キャンセルを行うことができます。詳細は、Sentinel Admin Control Centerの Help -> Cancel Detached License ページに記載されています。

### デタッチをキャンセルする

左側の見出しにある「Products」をクリックすると、利用可能なライセンスが表示されます。デタッチ/コミットされたライセンスをキャンセルしてプールに戻すには、以下のように「Cancel License」ボタンをクリックします。



## オンラインの場合

クライアントマシンがオンラインの場合、ライセンスはサーバーに返却されます。

## オフラインの場合

クライアントマシンがオフラインの場合、「.r2hファイル」が生成されます。このファイルをサーバーに適用して、ライセンスを返却する必要があります。